

## 第4学年 図画工作科学学習指導案

### 1 題材名

「切って 組み合わせで 木の世界」 (工作に表す)

### 2 指導観

#### (1) こんな児童だから

本学級の児童は、3年生「トントン サクサク 木の名人」の学習において、金づちでくぎを打つ経験をしている。4年生の一学期には、「ひもでつくろう」の学習で、細い粘土のひもを巻き上げたり形を変えたりしてできた形から、表したいものを表す活動を行った。「コロコロガーレ」では、ビー玉を転がして楽しく遊ぶ仕組みを作って、ビー玉がうまく転がるように試しながら工夫をしていく経験をしている。

このような児童にとって、のこぎりで木を切ることは未体験であり、くぎ打ちだけでなくのこぎりで木を好きな形や大きさに切って組み合わせる活動を通して、自分の表したいことを表す新たな材料として木を活用し、表現の幅を広げていくことができると考えられる。

#### (2) こんな題材で

本題材は、のこぎりの扱いに慣れ、木を切ることができるいろいろな形を組み合わせることができるものから表したいことを思い付き、自分の思いに合ったものをつくることをねらいとしている。

まず、のこぎりの使い方を学習して木切れを自由に切ることで、楽しみながらのこぎりの扱いに慣れ、様々な大きさや形の木片を多くつくり出していく。次に、それらを組み合わせながら見立て活動をする中で、操作の中で生まれる形を楽しみ、発想を広げていくことができると考える。さらに、表現の途中で自分の作品を振り返ったり友達の作品のよさを見付けたりしながら、木片の形を生かしたり、組み合わせ方を考えたりすることで、自分の思いに合った表現の工夫を引き出すことができることから、有意義な題材であるといえる。

本題材はA表現の(1)ウと特に関連が深く、木という材料の「手触り」「香り」「軽い」「堅い」「切れる」といった特徴を感じながら、木を切る、組み合わせるといった活動を体験できるものである。

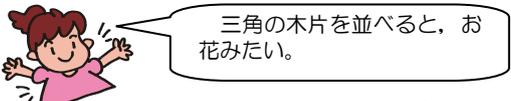
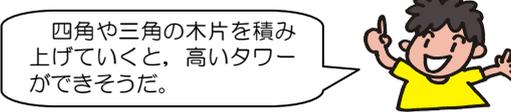
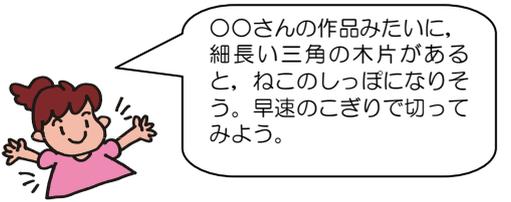
#### (3) このように指導して

- 発想・構想の段階においては、まず、のこぎりで自由に木切れを切ってきたたくさんの木片を組み合わせ見立て活動を楽しませる。その操作の中で生まれる形を楽しむことに重点を置き、つくりたいもののイメージを膨らませていく。そして、つくりたいもののイメージを絵や言葉で明確に表現させる。イメージが広がるように、小グループで思ったことや感じたことを話し、見立て活動を振り返らせながら進めていく。
- 表現の段階においては、活動の初めに振り返りの時間をもつことで、自分のめあてを明確にし、活動に見通しをもち、自信をもって取り組むことができるようにする。最初は、つくりたいもののイメージをもとに木片の大きさや形の特徴を生かして組み合わせ、くぎやボンドを使って接着させる。表現する時に自分の思いに合った木片がない時は、のこぎりで好きな木片に切るできるように、活動の場を設定する。活動の終わりには、自分の思いが表現できているか、自分のめあてに対する振り返りの時間を設定する。
- 鑑賞の段階においては、木片の切り方、組み合わせ方に視点を置き、互いの表現のよさや面白さを見付ける活動を行わせる。作品のよさや面白さを共有し、自分の作品を友達に認められる体験を通して、児童が自己肯定感を感じられるようにする。

### 3 題材目標

- のこぎりで木を切ることに興味をもち、思い付いたものをつくることに取り組んでいる。(造形への関心・意欲・態度)
- 木を切ることができる形から、自分の表したいものについて考えている。(発想や構想の能力)
- 木片の形や大きさを生かしながら、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。(創造的な技能)
- 自分と友達の作品を見て、表し方のよさや面白さなどを見付け、伝えることができる。(鑑賞の能力)

4 学習計画（全7時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
発想 構想 ②	1 のこぎりの使い方について知る。 ○ のこぎりの持ち方 ○ 木の切り方 ・ 切り始めと切り終わりについて ・ 切る角度 2 のこぎりで木切れを切る。	※ 写真を用いることで、持ち方・切り方が視覚的に分かるように工夫する。 ※ のこぎりの基本的な扱い方については、GTの学校用務員とともに指導・支援にあたる。 ◆ 豊かな発想ができるように、自他の切り方を振り返らせる。	◎ 安全なのこぎりの使い方を守り、意欲的に木材を切っている。 ◎ 木切れを横や斜めなど様々な方向に切りながら、のこぎりで切ることを楽しみ、切り方のコツを見付けている。 
	3 切った木片を組み合わせて見立ての活動を楽しむ。 4 見立ての活動をもとに、つくりたいもののイメージをもつ。	◆ 操作の中で生まれる形を楽しむことに重点を置き、イメージが広がるように、小グループで思ったことや感じたことを話しながら活動できるようにする。 ※ つくりたいもののイメージをはっきりさせるために、アイデアスケッチをしたり、文や言葉に書き表したりさせる。	◎ 様々な大きさや形の木片を並べたり、重ねたり、組み合わせたりしながら、イメージを広げている。   ◎ つくりたいもののイメージを図工ノートにかき表している。
表現 ④ 本時 5/7	5 イメージをもとに、木片を組み合わせる。 ○ 木片のつなぎ方（くぎやボンド）について確認する。 ○ 材料（木片）コーナーで補充したり、のこぎりで必要な形・大きさに切ったりしながら、思いに合った作品をつくる。	※ 木片の組み合わせ方に応じて接着・接合の仕方を考えられるように板書や掲示資料を工夫する。 ※ 材料（木片）コーナーに面白い形や大きさのものを入れておき、児童の発想が広がるようにする。 ※ 必要に応じて木材を切るスペースを確保する。 ◆ 児童一人一人の自分のめあてを明確にするため、学習の初めにふりかえり活動を行わせる。 ◆ 制作途中で自分の作品を振り返ったり、友達作品を鑑賞したりしながら、木片の形・大きさ、切り方、つなぎ方（並べ方、重ね方、組み合わせ方）の視点を基に工夫させていく。	◎ イメージを基に、木片の大きさや形を生かして組み合わせている。 ◎ 木片のつなぎ方を考え、発想を膨らませたり、表現の仕方を工夫したりしている。 ◎ 自分の作品を振り返ったり、友達作品を鑑賞したりしながら、自分の思いに合った表現方法を見付けている。  
鑑賞 ①	6 互いの作品を鑑賞し、作者の思いをもとに表現のよさや面白さを味わう。	◆ 木片の形・大きさ、切り方、くっつけ方、つなぎ方に視点を置き、作品のよさや面白さを見付けさせる。	◎ 自分が工夫したことを友達に伝えたり、友達作品からよさを感じ取ったりしている。

## 5 本時の指導について

### (1) 本時の目標

- 自分の表したいことを振り返ることで、自分の思いが表れるように工夫しようとしている。  
(創造的な技能)

### (2) 本時指導の重点

本時は、初めに自分の思いに合うように表現できた点と工夫したい点について小グループで交流し、次に友達がつくったものから自分の思いに合った木片の切り方や組み合わせ方を探すことで、自分のめあてをもたせて活動の見通しをもたせる。そして自分の思いが表れるように、形や大きさに気を付けて切ったり、木片の組み合わせ方を工夫したりしながら、自分の思いに合ったものをつくらせていく。最後に、自分のめあてが達成できたかを振り返ることで、次時の活動の見通しをもたせる。そのために、以下のことを行う。

- 友達と交流することで、自分のめあてをはっきりさせるふりかえり活動の設定をする。
- 工夫したいことが表現できるような活動の場（材料コーナー、切るコーナー）の設定をする。

### (3) 本時の展開

学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
1 本時のめあてを確認する。  めあて _____ アイデアスケッチをもとに、木へんを切ったり組み合わせたりして自分の思いを表そう。		
2 自分のめあてをもつ。 (1) 自分の思いに合う表現ができた点、工夫したい点について発表する。 (2) 友達がつくったものから、自分の思いを振り返りながら交流する。  3 自分の思いが表れるようにつくる。	◆ めあてに沿ってグループや全体で友達と交流させる。  ◆ 友達がつくったものから振り返る時は、自分の思いに合った木片の切り方や組み合わせ方を探し、工夫できるようにする。  ※ のこぎりが必要な形を切ったり組み合わせ方を工夫したりしながらつくることができるように、材料コーナー、切るコーナーを設置する。 ※ 木片の組み合わせ方を工夫できるように、参考となる資料を掲示する。 ※ 木片の組み合わせ方に応じて、接着・接合の仕方を考えられるような資料を掲示する。 ※ 学校用務員とともに指導にあたり、木片の難しい切り方や組み合わせ方をする際の支援を行う。	◎ 自分のめあてをもち、活動の見通しをもつことができている。  ◎ 友達がつくったものから自分の思いに合う表現の工夫を見付けている。  ◎ 木片の切り方や組み合わせ方を工夫しながら自分の思いに合ったものをつくろうとしている。  <div data-bbox="1013 1370 1449 1451" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             木片の縦と横を入れ替えてみると、高さが出て面白そう。           </div> <div data-bbox="1013 1496 1449 1639" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1034 1662 1449 1787" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             ○○さんの作品みたいに、斜めに切って組み合わせると、くねくねと曲がって面白いな。恐竜の首にしてみよう。           </div>
4 本時の学習の振り返りをし、次時の学習の見通しをもつ。 (1) 本時の活動を振り返り、図工ノートに書く。 (2) 次時の学習の見通しをもつ。	◆ 自分のめあてが達成できたかを振り返らせることで、次時の活動の見通しをもたせる。	◎ 自分のがんばったことや工夫したことについて振り返り、次時の活動の見通しをもっている。